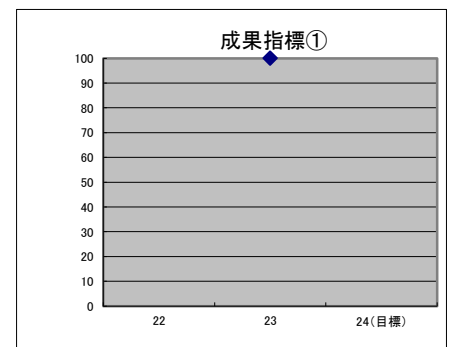
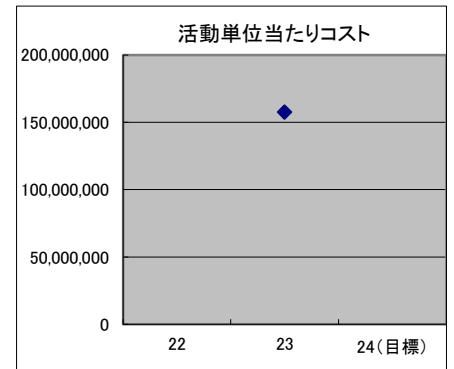


総合基本計画	事務事業名	駒ヶ谷駅西側公園整備事業		予算科目	会計	1	一般会計
	まちづくりの目標(章)	1	安全・安心、快適で住みやすいまち		款	8	土木費
					項	4	都市計画費
					目	3	公園費
	施策(節)	10	公園・緑地・緑化		事業	92	(仮)駒ヶ谷駅西側整備推進
施策の方向	(3)	身近な公園の管理体制の充実	作成部署	土木部みどり公園課			
関連する計画等				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 2430		
事業の目的	対象(誰を・何を)						
	市民						
	意図(どういう状態にしたいのか)						
事業の内容	みどり豊かな公園を整備し、地域の特性を生かしたイベント開催等を通じた、ふれあいと賑わい、憩いの場を提供する。						
	本公園は、近鉄駒ヶ谷駅より徒歩2分に位置し、円形広場、ぶどう型遊具、ウッド調のステージや管理棟などを備え、平成24年4月29日にオープンした。						
	*整備面積: 6,638㎡ *整備内容: 植栽工(高木54本、中低木1,171本)、芝生工(2,548㎡)、園路整備工、遊具施設整備工、給水設備・雨水排水工他						
根拠法令等		羽曳野市公園条例及び同施行規則					
事業開始時期		平成 23 年度開始				終了年度	平成 23 年度
事業開始時からの状況変化							
市民や議会の要望		市民の集まる場所の整備、周辺地区の交通規制の緩和					
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()					
委託先		☐ 外郭団体委託	名称	委託内容			
		☐ 民間委託					

区 分		22年度	23年度	24年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		0	155,183	
人件費【2】 (千円)		0	2,412	0
職員数	正規職員	0.00 人	0.50 人	0.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		0	157,595	0
財源内訳	国費 (千円)		59,208	
	府費 (千円)			
	市債 (千円)		91,700	
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	0	6,687	0
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		22年度	23年度	24年度(目標)
① 工事件数	件	0	1	0
②		0	0	0
③		0	0	0
活動単位当たりコスト(【A】／【B】①)		円	157,595,000 円	円
市民1人当たりコスト(【A】／人口)		0 円	1,345 円	0 円



成果指標 (事業目的の達成度を測る指標)	指標名		単位	指標設定の考え方	平成22年度	平成23年度	平成24年度
	①	事業進捗率	%	整備事業全工程を100とした場合の進捗度合い	目標	100	達成率(%)
		(式) (実施済工程÷全工程)×100			実績	100	100.0%
	②				目標		達成率(%)
		(式)			実績		

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性	分析・評価の説明
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有	市民にふれあいと安らぎ、憩いの場を提供し、防災機能も有する公園を整備することは、市の責務である。

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い	☒	☐	☐	地域住民にとって、地域の特性を生かした特色のある公園整備への期待は大きい。
		市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない	☒	☐	☐	
		社会情勢の変化に対応している	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業と重複していない	☒	☐	☐	
		事業を休止、廃止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
		緊急性が認められる	☒	☐	☐	
	効率性	単位コストが適切である(経年、他市比較など)	☒	☐	☐	工事施工にあたり、環境、防災・安全面に配慮するとともに、建設資材のコスト削減も図りつつ、施設の早期供用開始に努めた。
		受益者負担の割合は適当である	☐	☐	☒	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		簡略化できる方法や手段がない	☒	☐	☐	
		市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		民間活力(民間委託、NPO、ボランティア、PFIなど)の活用について検討の余地がない	☒	☐	☐	
	有効性	上位の施策(目的)が明確である	☒	☐	☐	市総合基本計画に掲げる、特色と親しみのある公園づくりの促進や災害時の活動拠点、避難場所となる公園・広場の整備を実現するための事業である。
		上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である	☒	☐	☐	
		成果を向上させる余地がない	☒	☐	☐	
		市民の視点にたってサービスが提供されている	☒	☐	☐	
	協働性	事業の企画、立案に市民が参加している	☒	☐	☐	地元の方々の参画のもと、供用開始することができた。
		事業の実施に向けて、市民と情報の共有が図られている	☒	☐	☐	
		事業の実施について積極的に市民の意見を反映している	☒	☐	☐	
		事業の実施に市民の参加、協力が得られている	☒	☐	☐	
	達成度	成果指標の目標値は適正である	☒	☐	☐	施設整備は完了した。
		成果指標の実績値は目標値以上である	☒	☐	☐	
		成果指標は前年度より向上している	☐	☐	☒	

担当 部局 評価	総合評価									
	☐ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☒ 完了									
	評価の理由									
	施設整備は完了し、平成24年4月29日に供用開始した。									
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)									

供用開始後、遊具の維持管理や防犯上の警備対策など、利用者が安全・安心して使用できるよう管理運営に努める。併せて、市民参画による効率的な管理運営の方法を考える必要がある。